

第29回住生活月間中央イベント 「スーパーハウジングフェア in 佐世保」開催

第29回住生活月間中央イベント「スーパーハウジングフェア in 佐世保」が長崎県佐世保市にて9月30日(土)、10月1日(日)の両日、開催されました。

今年は、「いまこそ健康・省エネ・あんしん住宅～ココに注目!お得でかしこい住まいの最新性能～」をテーマとしました。住生活月間は国民一人一人に、住宅や居住環境の向上に関心を持っていただき、住生活の向上について啓発活動を行うことを目的に平成元年に制定されました。平成18年には、住生活の基盤となる良質な住宅の供給や、良好な居住環境の形成等を住宅政策の基本とする「住生活基本法」が制定され、それまでの量を重視する住宅政策が、質、すなわち住生活を重視する政策へと大きく転換しました。とりわけ少子高齢化、大規模災害、地球温暖化などの様々な問題が顕在化してくる中で、安全、安心で、省エネ性の高い、健康長寿社会の実現に向けた取り組みは益々重要になっています。

そこで、今年のテーマ展示では、最先端の住まいづくりのポイントを中心に、健康で快適に暮らすための住まいの性能について紹介しました。

同時に住宅金融支援機構や都市再生機構をはじめとした住宅関連団体の展示や、家やまちの絵本コンクール受賞作品等の展示、住まいのリフォームコンクールの受賞作品等の展示も行われました。

更に、全国133箇所の総合住宅展示場において全国統一キャンペーンを実施し、住生活月間の告知のご協力を頂きました。

会場となった「アルカスSASEBO」中央イベントテーマ展示会場には、同日開催の「2017長崎県住宅フェア in 佐世保」とあわせ、会期中約4,300名の方々に来場頂きました。

10月1日には、アルカスSASEBO 1階エントランスロビーにおいて、高円宮妃殿下ご臨席のもとテープ



テープカットセレモニー

カットセレモニーが行われました。その後、妃殿下は各出展ブースをご視察され、受賞者との記念写真やご説明をお受けになっておられました。

引き続き、高円宮妃殿下のご臨席、牧野国土交通副大臣をはじめ多数の方のご来賓出席のもと、アルカスSASEBO 4階中ホールにおいて「住生活月間・住生活月間中央イベント合同記念式典」が行われました。

住生活月間中央イベント実行委員会和田委員長は、松野住生活月間実行委員会会長とともに主催者として挨拶し、更に高円宮妃殿下よりお言葉を賜りました。

和田委員長は、挨拶の冒頭で7月はじめの記録的な豪雨により九州北部においてお亡くなりになった方々に哀悼の意を表すとともに、被災された全ての方々に対しお見舞いを申し上げました。続いて、「スーパーハウジングフェア in 佐世保をはじめに、住生活月間の主旨である住生活の向上と今年のテーマである



高円宮妃殿下



住生活月間中央イベント実行委員会委員長 和田 勇

「いまこそ健康・省エネ・あんしん住宅～ココに注目!お得でかしこい住まいの最新性能～」について国民一人一人に啓発活動を行うこと、ホームページ『住宅・すまいWeb』を通じて全国への住情報の発信を推進していること、更に、全国住宅総合展示場に於いてキャンペーンを実施することで、住宅・住環境、住まい方等について、深く考える機会を提供して参りたいと考えています。」と述べられました。

同時に、この合同記念式典では、「住生活月間功労者」、「住まいのリフォームコンクール受賞者」、「家やまちの絵本コンクール受賞者」に対し、国土交通大臣賞等の表彰が行われました。